

# 大阪市立大学大学院文学研究科プロジェクト 「明治維新以来の日本と諸外国の関係」 第5回研究会

以下の要領で、研究科プロジェクト「明治維新以来の日本と諸外国の関係」の第5回研究会を開催します。今回は中村綾乃先生と小澤一郎先生をお招きしてお話をうかがいます。ふるってご参加ください。



記

日時： 2018年2月10日（土）14時～18時

会場： 大阪市立大学文学部棟2階情報編集室カフェスペース

報告：

① 小澤一郎（大阪経済法科大学研究員）

「ガージャール朝期イランにおける軍制改革と対外関係」

② 中村綾乃（大阪大学准教授）

「終戦と上海在留ドイツ人社会—二つの中国と二つのドイツの成立を背景として」

小澤先生は、近代イラン軍事史に広い視野から取り組んでいる新進気鋭の研究者です。中村先生は、第2次世界大戦の東アジアにおけるドイツ人社会を広く研究され、ご著書に『東京のハーケンクロイツ 東アジアに生きたドイツ人の軌跡』（白水社、2010年）があります。



写真上：上海ドイツ領事館（出典：Vereine im Ausland e. V., *Wir Deutsche in der Welt*, Berlin 1937.）

写真下：上海ドイツ領事館（1934年5月1日）メーデー（出典：Ostasiatischer Beobachter, Folge 13. Shanghai 1. Juni 1934, S. 8.）

連絡先：北村昌史（大阪市立大学）

kitamasa@lit.osaka-cu.ac.jp